

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

2035年ビジョン

電動化・知能化の時代においてHondaのモビリティの価値進化に呼応した金融サービスの進化・拡充でお客様のより豊かなモビリティライフ実現のためになくはない存続

② 中長期の経営戦略

1. 金融ビジネスの進化・拡充

環境変化を捉えた更なる金融ビジネスの進化・拡充に取り組む

3. 事業体質強化

金利のある世界における不断の事業体質強化を実施

2. オペレーション変革

高品質で高効率な金融オペレーションへの更なる変革を推進

4. AI活用による業務改革

新価値創造に向けたAI活用による業務改革を展開

③ 対処すべき課題

① 社会・経済環境への対応

- ・ 少子高齢化や人口減少への対応
- ・ 物価や金利上昇への対応
- ・ 自動車業界の知能化加速への対応

② デジタル技術活用

- ・ AI・DXの進展に対応した事業展開
- ・ テクノロジーと人の融合による進化実現

③ 経営課題

- ・ ESG経営の継続的な強化

面接で使えるポイント

- ・ 2035年ビジョンで掲げる電動化・知能化時代のモビリティ価値進化への金融面での貢献
- ・ 人とテクノロジー融合によるAI活用で新価値創造する業務改革への挑戦
- ・ 少子高齢化や金利上昇といった環境変化に対応する金融事業体質の強化

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
親会社である本田技研工業株式会社及びその関係会社等により構成されるホンダグループ

主力事業・セグメント

・その他金融業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

－（未開示）

営業利益率

－（未開示）

財務健康度

18点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 24.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収

－（未開示）

平均年齢

－（未開示）

平均勤続

－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

